

6月・夏の国際交流月“中国祭り”

今年の夏の国際交流月は、「中国祭り」というテーマで展開しました。まず、イベントの第1弾として、町田と千代田三番町の両キャンパスに掲示を出して中国を紹介。本学の中国人留学生13名へのインタビュー記事は、来日のきっかけが「ドラえもん」や日本のドラマだったこと、日本については「ゴミがなくきれい」「人が優しい」と思っていること等がわかり、興味深い内容となりました。

イベントの第2弾は、1日限定で開店した中国カフェ「阳光（ヤングァン）」（日本語の「陽光」）です。6月27日の千代田三番町キャンパスでは26名、6月28日の町田キャンパスでは37名の参加者がありました。

会場では、中国の色々なお茶やお菓子を味わいながら、中国人留学生の話に驚いたり、感心したり、笑ったり。皆が、日本と中国の交流で生まれた“温かい光”につつまれた会となりました。



▲ 町田キャンパスの様子

地域サポーター対象中国語チューター

中国語チューターは、「中国人留学生による中国語教室」を終了した地域サポーターを対象として実施しています。今年度前期には、13名の参加者があり、馮士懿さん（日本文化学科4年）、張偉霞（文化情報学科3年）さん、張笑媚さん（文化情報学科4年）、肖雪さん（日本文化学科3年）の4名がチューターとして中国語や中国文化を教えました。

1対3~4という少人数のリラックスした雰囲気の中での勉強は

「とても楽しい！」と好評。チューターの学生達も、地域住民の方達との交流の中で、学生生活だけでは分からない色々なことを学んでいるようでした。

◀ 馮士懿さんの
チューターの様子



留学生パーティー

留学生パーティーは、新たに入学、編入した留学生を歓迎し、日本の大学生活に早く馴染むためのきっかけ作りとして、毎年開催されています。今年は、町田キャンパス4月20日、千代田三番町キャンパス4月22日に開催されました。両キャンパスともに日本人学生の参加が予想を上回り、参加者の名前を使ったビンゴゲーム等で盛り上がり、楽しい交流の場となりました。



▲ 千代田三番町キャンパスの様子

国際交流センター・バザー“100円市”開催

4月7日に恒例の国際交流センター・バザー“100円市”が開催されました。昨年に引き続き、1日限りの開催でしたが、24,000円の収益を上げることができました。収益金の半分を国際交流会の活動資金に充てることとし、残りの半分12,000円と会場で集まった募金15,903円の合計金額27,903円を、日本赤十字社を通じ、東日本大震災義援金として寄付させて頂きました。ご協力、有り難うございました。

協定校の釜山女子大学から 東日本大震災の義援金が届きました

釜山女子大学では、東日本大震災を受け、「隣国の友達を助けよう！」という掛け声のもと、全学生と教員が募金活動を開始。4月3日にはソ教授が、集まった120万円余を本学に届けて下さいました。義援金は温かい心と一緒に、本学院で学ぶ被災者の手元に既に渡っています。釜山女子大学の皆さん、本当に有り難うございました。

中相原町夏祭りに参加して

今年も中相原町夏祭りにご招待いただき、5名（2名は体調不良のため欠席）の留学生が参加いたしました。前日までの猛暑から一転して、初秋の気温となったありがたい天候の中、おごそかな祭礼から始まり、今年は東日本大震災の復興祈願も合わせて行われました。

留学生は、待望の浴衣を着て大喜び！神輿、山車の巡行に参加しました。今回は特別のご接待も受け、丁度夏祭りの日に関



東大震災が起き、相原に伝わるまんじゅうが地元の人達の命をつないだという話もお聞きすることができました。至れり尽くせりの中相原町の温かいご協力に留学生一同感謝し、大満足の1日でした。

◀ 浴衣姿で夏祭りへ参加

◎各募集のお知らせ

★言語チューター（教える人／習う人）

中国語、韓国語、日本語を学びたい学生が、それらの言語を母語とする学生と1対1で勉強する制度です。

「習う人」の応募資格は、日本語の場合のみ、学部1・2年生の留学生に限られます。「教える人」の応募条件は以下の通りです。

中国語：中国語を母語とする学生

韓国語：韓国語を母語とする学生

日本語：日本語を母語とする日本語教員養成コース履修生

国語科教員免許課程履修生、日本語ゼミ生

★科目チューター

学部1・2年次に在籍する留学生のための制度です。履修科目に困難が生じた際に、同じ科目を履修している（または履修したことがある）学生を科目チューターとして、一緒に勉強することができます。

★日本語会話パートナー

日本語を母語とする学生と留学生が、自由に楽しく交流するための制度です。応募条件はありません。

★アメリカ・フロリダ州の大学生とのメール交換

Florida International University(フロリダ国際大学)で日本語を学ぶ学生とメールを交換する制度です。使用言語は、日本語と英語のどちらかを選ぶことができます。

★国際交流会

国際交流のイベントや行事の企画・運営をする学生の会です。活動を通じて、友達の輪を広げませんか!?

各募集の申込みは所定用紙にて事務局・学生支援グループまで

◆英語サロン開催!

マーク・ルイス先生と楽しく英語でおしゃべりしませんか!! 英語力不問! お気軽にご参加下さい!

日程：9月28日 10月5日・12日・19日・26日

11月2日・9日・16日・30日

時間：12:20～12:50

*申込不要!!

場所：町田キャンパス 3207（児童学実習室）

12月・冬の国際交流月のお知らせ 「第5回外国語スピーチ・コンテスト」

12月の「冬の国際交流月」のテーマは、例年通り「外国語でスピーチを!」です。発音やスピーチ原稿作成に「現時点で」自信がなくても、挑戦してみませんか? 教員や留学生が指導に当たりますので、どうぞふるってご参加ください。外国語スピーチ・コンテストに参加する事で、新しい世界へと通じる扉を開ける事になるかもしれません。コンテスト終了後には、入賞者に記念品を贈呈します。その後はクリスマス・パーティーが開催されますので、どうぞお楽しみに! また、当日のスピーチ・コンテストは、どなたでもお聴きになれます。多数の皆さんのご参加をお待ちしております。

開催日時：2011年12月14日（水）午後4時20分より

場所：両キャンパス（詳細は掲示板にて）

応募期間：2011年10月3日（月）～11月11日（金）

参加申込：所定用紙で学生支援グループへ

日本語および海外留学体験弁論部門出場者は、400字詰め原稿用紙3枚から3枚半程度の口述原稿（日本語）を添えて申し込んで下さい。

指 導：英語は教員、中国語、韓国語は留学生

*早めに応募すれば準備に時間がとれ、自信を持ってコンテストに臨む事ができます。

<第一部>外国語暗唱部門

言 語：英語・中国語・韓国語

参加資格：それぞれの言語を母語としない本学学生

内 容：指定された文章から選択したものを暗唱する。

<第二部>日本語弁論部門（各自5分）

参加資格：日本語を母語としない本学学生

内 容：以下の内容から一つ選択し、スピーチする。

1. 日本で暮らして考えたこと
2. 日本で出会った大切な人
3. 私の夢

<第三部>海外留学体験弁論部門（各自5分）

参加資格：海外留学・研修等の経験のある本学学生

内 容：以下のテーマから一つ選択し、日本語でスピーチする。

1. 海外留学・研修体験から得たもの
2. 海外に滞在して考えたこと
3. 外国で出会った大切な人

第二部と第三部はスピーチ終了後、質疑応答があります。なお、審査員と言語指導を担当する中国語および韓国語を母語とする学生スタッフも募集しています。興味のある方は10月31日までに学生支援グループにお申し込み下さい。ただし、審査員や言語指導を担当した場合は、スピーチ・コンテストには出場できません。

◆地域の方へ

2011年度後期も“中国人留学生による中国語教室”を9回開催致します。また、地域サポーターやホストファミリーも募集しております。詳しくは、大学事務局・学生支援グループへお問い合わせ下さい。ご応募、お待ちしております。